

ウイルス対策ソフト 比較検討表

目的	機能	仕様	A社製 Xソフト	B社製 Yソフト	C社製 Zソフト	D社製 Vソフト	
1 総合的な防御力を向上させる	ファイアウォール	サーバーの集中管理機能によって、クライアントのポリシーを設定したり強制することが可能であること	○	○	○	○	
	ヒューリスティック検索	ヒューリスティック検索によるウイルススキャンが可能であること	○	○	○	○	
	スパムメール対策	独自のスパムエンジンを搭載し、迷惑メールを検知しブロックが可能であること	●	○	○	○	
	ファイルレピュテーション	不正なファイルのダウンロードやアクセスのブロックが可能であること	○	×	●	×	
	Webレピュテーション	セキュリティ上問題のあるサイトへのWeb接続を自動的に遮断することで、不正プログラムの侵入・感染防止が可能であること。	○	●	○	●	
	IPS	OSやアプリケーションの脆弱性を検索し、発見された場合は仮想パッチの自動適用が可能であること。	●	○	○	×	
2 外部デバイスやスマートフォンを経由した情報漏洩を防ぐ	デバイス制御	ホワイトリスト機能により許可するストレージデバイスの登録が可能であること。また、「許可」から「未許可」へ簡易に変更が可能であること。	●	○	○	○	
	コンテンツ検査	登録したテンプレートをもとに文書コンテンツのリアルタイム検査が可能であること。	●	△	×	×	
	ログレポート	ログ、レポートをリアルタイムで閲覧可能であること。単体でファイルの出力も可能であること。	●	○	○	○	
3 不正なアクセスやアプリケーションの実行を防ぐ	アプリケーション実行制御	ホワイトリスト機能により実行許可するアプリケーションの登録が可能であること。	●	×	×	▲	
	書き込み制御	管理者が指定したファイル/フォルダ/レジストリに対する変更防止が可能であること。	●	●	●	×	
	変更監視	すべてのファイル/レジストリに対する変更（書き込み/名前変更/削除）を監視・記録することが可能であること。	●	●	●	×	
記号の意味： ○：満たす（5点） ●：オプションで満たす（5点） △：一部満たす（3点） ▲：オプションで一部満たす（3点） ×：機能として不足（0点）			○	15	2	8	9
			●	2	11	5	0
			△	0	2	3	1
			▲	0	1	1	0
			×	1	2	1	8
ポイント			85	74	77	48	